

泉大津市社会教育委員会議

■令和7年度第2回会議の議事概要

日 時：令和7年11月14日（金）午後1時～2時40分
場 所：泉大津市役所 3階大会議室
出 席：岡崎委員、井上委員、杉山委員、木野委員、祐仙委員
オンライン：富山委員
欠 席：楠本委員
公開の有無：公開
傍 聴 者：なし

議 題

1. 第2次生涯学習推進計画及び第4次文化芸術振興計画について

報 告

- ① まちなかアートフェス2025について
- ② 市立弥生学習館及び泉大津市池上曽根史跡公園の指定管理者の選定について
- ③ 仲よし学級の民間委託について
- ④ 令和7年度 大学連携事業についての中間報告
- ⑤ 近畿地区社会教育研究大会（和歌山大会）について

議事概要

議題

1. 第2次生涯学習推進計画及び第4次文化芸術振興計画について

生涯学習課より資料1に基づき説明が行われた。第二次生涯学習推進計画及び第4次文化芸術振興計画の策定スケジュールと内容、徴取予定のアンケートの素案が共有された。

《主な意見等の内容》

木野委員：スポーツ分野の扱いについてですが、過去のよりも項目が少なく感じます。またアンケート項目にもスポーツに関する質問が少ないように思われます。文化芸術と比べて扱いが軽いのではないかと。

事務局：今年度からスポーツ振興の事業が生涯学習課に統合されたことに伴い、より緊密な連携を図りながら計画を策定していきたいと考えている。文化芸術分野に関する事項が多い点については、生涯学習推進計画と文化芸術振興計画を二本立てで策定するため、アンケートについては文化芸術振興計画の分、文化芸術に関するボリュームが増えている。生涯学習推進計画では、スポーツ分野についても記述する必要であると認識していることから、これまでよりも内容を充

実させる方向で検討していきたいと考えている。

杉山委員：アンケート調査の設問について、質問項目がどのように設計されたのか、過去の調査を参考にしたのか、また新たに追加された項目はどのようなものか。

事務局：文化芸術振興計画については前回の計画時のアンケートを基にしているが、生涯学習推進計画に関しては泉大津市教育振興基本計画が新しいものとなり、基本施策が変更されているため、新たな追加項目、例えば地域交流ゾーンの認知度を確保する設問を追加したいと考えている。

岡崎議長：一般市民から見ると、生涯学習とは非常にわかりにくい。アンケートに、市が考える「生涯学習とは」という説明が入ると、わかりやすくなると思う。市民が質問内容を正確に捉えるための工夫が必要である。

事務局：生涯学習や文化芸術活動の範囲を市民が理解しやすい形で説明を追加することを検討する。

富山委員：スポーツ振興基本計画を独立で持つ自治体も多いが、泉大津市では生涯学習推進計画に包括されるとのことで、スポーツの存在感が薄れている印象である。スポーツの推進について、もう少し幅広い視点を盛り込むべきではないか。全国的にスポーツ振興が市長部局に移行する動きがあり、地域活性化の手段としてのスポーツの重要性が増している。泉大津市がスポーツ振興をどう位置づけるか、しっかり議論する必要がある。現状ではスポーツが衰退しているように感じる。

事務局：スポーツ分野が少ないというご意見については、計画の中でバランスを検討し、文化芸術とスポーツの両方を充実させるよう進めたいと考えている。

井上委員：文化財に関する質問項目が少ないのが気になる。文化財や歴史に対して興味を持っているかどうかより、文化財を地域で支える視点や市民が主体的に関わることを促す設問が必要ではないか。また、文化財と文化芸術が分離されていることに違和感がある。相互に関わっているものではないか。

事務局：文化財分野の質問項目については検討を進め、改善を図りたい。文化芸術と文化財の連携についても考慮する。

杉山委員：泉大津市は、「つながり」を重視した取り組みをおこなっており、ブンカミーティングの取り組みなど、非常に評価できる。「自分が楽しむ」側から「楽しんでもらう」側になるよう、計画にもうまく取り入れてほしい。同じようにス

ポーツも文化と繋がる場を作ることで、市民の意識や活動が広がるのではない
か。

また、こういった活動に参加していない方の想いをどのように受け止めるか
が大事になるのではないか。

祐仙委員：文化事業で行っているブンカミーティングは、泉大津市の文化活動を活性化さ
せる重要な取り組みである。以前は華道や川柳など分野別に縦割りで、分野を
超えた交流がなかった。ブンカミーティングが始まってからは、異なる文化分
野の人々が集まり、会話をすることで親しくなり、まちなかアートフェスなど
のイベントをおこない成功している。それぞれが影響し合い、学び合い、繋が
りが生まれる様子を実感している。これにより、市民にとって文化がより身近
なものとなったと感じる。文化だけでなくスポーツとも連携することで新しい
可能性が広がると考える。スポーツとも交流の場を作ることで文化とスポーツ
が繋がり、相互に良い影響を与え合えるのではないか。こうした取り組みを続
けることで、市民に新たな価値観を提供できると期待している。

岡崎議長：カテゴリーで縦割りにするということは必要ないのではというご意見である。
このような考え方のもと、アンケートだけではなく、計画のレイアウトについ
ても議論していくべきだろう。

報告① まちなかアートフェス 2025 について

《主な意見等の内容》

祐仙委員：今年のイベントも非常に楽しみ。市民が参加しやすい内容が増えている点が良い
と思う。

報告② 弥生学習館及び池上曾根史跡公園の指定管理者選定について

《主な意見等の内容》

井上委員：池上曾根遺跡の活性化について具体的な提案などはあったのか。あればどのよう
なものか。

事務局：具体的な事業提案内容については発展的なものが少ないと感じている。今後、市
から積極的に意見を出し、より魅力的な事業展開を求めていく方針である。

報告③ 仲良し学級の民間委託について

《主な意見等の内容》

特になし

報告④ 大学連携事業についての中間報告

和歌山大学、桃山学院大学、大阪体育大学との連携事業について中間報告が行われた。

《主な意見等の内容》

特になし

報告⑤ 近畿地区社会教育研究大会について

台風の影響により中止となった旨が報告された。

《主な意見等の内容》

特になし

終了 午後2時40分